

添付資料

添付資料 : 航海計画書の参考例

BRIDGE NOTEBOOK VOY.#: 09W21E FROM: NAGOYA TO: KOBE Time Di.: Nil 文書番号: DATE: 2005年6月14日
 M.V. XXXXXXXXXX D/Drafts: FD = AD = A/Drafts: FD = AD =

実際の通過時間	WPT No.	名称	変針地点		位置		DISTANCE Inm. = 1,852 mtrs.		避険線	Watch Level	Call Capt. Y=Yes	UKC E:Enough Or Depth	Pn. Fix. Sys. Primary or Secondary	Pn. Fix. Freq. In Minutes	備考
			緯度	経度	針路と距離	To Pilot Station	From Berth								
		名古屋 NCB パース							PI	1.5-2	Y	E	XB/RD/GP	5-10	水先人乗船
		変針点	35-01.35	N 136-50.73	E			0.0'	PI	1.5-2	Y		XB/RD/GP	5-10	操舵手の舵取に注意 船位を常時確認
		NO. 2 BUOY	34-57.20	N 136-47.40	E			6.1'	PI	1.5-2	Y		XB/RD/GP	5-10	名古屋航路、行会船注意 見張りを厳重にする
		BUOY NO. 6	34-55.65	N 136-45.73	E			8.2'	PI	1.5-2	Y		XB/RD/GP	5-10	
		Nagoya Hbr. Pilot off	34-54.20	N 136-45.80	E			9.6'	PI	1.5-2	Y		XB/RD/GP	5-10	内航船多数 見張りを厳重にする
		Buoy No. 4	34-41.90	N 136-46.80	E			21.9'	PI	1.5-2	Y		XB/RD/GP	5-10	伊勢湾内航行 水先人動作を確認
		Buoy No. 3	34-34.46	N 136-59.00	E			34.4'	PI	1.5-2	Y		XB/RD/GP	5-10	漁船多数 見張りを厳重にする
		Buoy No. 2	34-33.00	N 137-00.85	E			36.5'	PI	1.5-2	Y		XB/RD/GP	5-10	
		Off Racon (G) Bay Ploff	34-30.00	N 137-03.35	E			40.1'	PI	1.5-2	Y		XB/RD/GP	5-10	水先人下船。 行会船多数。
		Off 大王埼灯台	34-10.80	N 137-05.80	E			59.4'	PI	1-1.5	Y		XB/RD/GP	15 mins	
		潮岬灯台	33-15.50	N 135-56.00	E			141.1'	PI	1-1.5	Y		XB/RD/GP	15 mins	内航船多数。 船長 Call を躊躇わないこと
		変針点	33-15.50	N 135-32.30	E			159.6'	PI	1-1.5	Y		XB/RD/GP	30 mins.	視界に注意 situation stipulated in Master standing order
		Off 日御碕灯台	33-50.00	N 134-58.50	E			204.1'	PI	1-1.5	Y		XB/RD/GP	15 mins	海図記載位置で船長 Call
		日御碕灯台正横	33-52.90	N 134-58.5	E			206.8'	PI	1-1.5	Y		XB/RD/GP	15 mins	
		友が島パイロット	34-10.25	N 134-59.80	E			224.1'	PI	1.5-2	Y		XB/RD/GP	5-10	水先人乗船
		沖ノ島灯台 1	34-15.90	N 134-59.10	E			229.8'	PI	1.5-2	Y		XB/RD/GP	5-10	大阪湾内航行 水先人動作を確認
		沖ノ島灯台 2	34-17.90	N 134-59.10	E			231.8'	PI	1.5-2	Y		XB/RD/GP	5-10	
		漁礁	34-29.80	N 135-10.90	E			246.9'	PI	1.5-2	Y		XB/RD/GP	5-10	
		神戸パイロット	34-34.60	N 135-15.20	E			253.3'	PI	1.5-2	Y		XB/RD/GP	5-10	水先人乗船
		Buoy No. 1	34-37.80	N 135-18.00	E			257.2'	PI	1.5-2	Y		XB/RD/GP	5-10	
		Breakwater	34-40.55	N 135-18.30	E			259.9'	PI	1.5-2	Y	E	XB/RD/GP	5-10	
		神戸パース 67						261.0'	PI	1.5-2	Y	E	XB/RD/GP	5-10	

外航船では船橋当直要員の数を Watch Level で決めている。

KIND OF FIX SYS: GP (GPS), RD (RADAR), XB (X BRNG)

Prepared by : Second Officer Approved by : Master Noted by : Chief Mate Third Mate

添付資料

書式番号：

文書番号：

日付 年 月 日

宛：XXXXX 株式会社 運航管理者 XXXXXX 殿

発：船長 XXXXXX

運航可否判断・航行可否判断 報告書

1	港名・船位	
2	運航可否・航行可否判断を行った日時	
3	報告内容（いずれかを囲む）	発航可否 航行可否 入港可否
		(第2条) (第3条) (第4条)
4	発航中止・航行継続中止・入港中止した理由	
5	航行継続中止・経路変更・減速 / 変針等の措置内容	
6	客観的な証憑類（添付）リスト	
7	報告日時	
8	航海日誌への記載	未 ・ 済

船長署名 _____

添付資料

書式番号：

文書番号：

(一連の番号を付しておくこと)

電話メモ

通話先電話番号	
通話先氏名・名称	
通話開始時間	年 月 日 時 分
通話終了時間	年 月 日 時 分

* 受信した場合は、必ず相手先の電話番号を確認して記入しておくこと。

= 通話内容 = (箇条書きで要点のみ)

作成者氏名・役職 _____

添付資料

出港時報告 出港予定通報

船名	XXXX 丸	
港名	港	
出港予定時刻	2013年7月31日 16:00 JST	
Condition	A 重油	25 KL
	C 重油	250KL
	潤滑油	28,000 L
	清水	25 KT
次港名	港	
到着予定時刻	2013年8月1日 16:00 JST	
その他	積荷:鋼材 250KT	

入港 60 分前 最終入港予定通報

船名	XXXX 丸
船位	38-25N 140-15E
日時	2013年8月1日 15:00 JST
次港名	港
到着予定時刻	2013年8月1日 16:00 JST
その他	特別必要な援助情報なし。

航海中定時連絡 航海中の定時連絡（正午位置）

船名	XXXX 丸
船位	38-25N 140-15E
日時	2013年8月1日 12:00 JST
次港名	港
到着予定時刻	2013年8月1日 16:00 JST
針路	<195>
速力	13.5kts
天候	bc
風向・風速	NNE 風力 3
波浪	SSE 1mのうねり、波浪 NNE0.3m
視界	15 海里以上
乗組員数・健康状態	8名、全員健康
その他	

入港時 入港通報

船名	XXXX 丸	
港名	港	
入港時刻	2013年8月1日 16:20 JST	
出港予定時刻	2013年8月2日 9:00 JST	
Condition	A 重油	24.5 KL
	C 重油	238KL
	潤滑油	27,500 L
	清水	20 KT
その他	補水 30KT 予定。手配済	

添付資料

書式番号：
文書番号：

船名：XXXXX丸

港名：

出港予定時刻：

発航前検査・出港直後の船内検査

点検項目	方法等	点検内容	担当者	結果	署名	実施日時	備考		
発航前検査	船体	外観目視検査	一等航海士	良好					
	機関	機関部点検	主機	機関長	良好				
			発電機	機関長	良好				
			補助ボイラー	機関長	良好				
			重要補機	機関長	良好				
			排水設備	機関長	良好				
			主機トリアール	機関長	良好				
	係船設備	外観目視検査	船首	一等航海士	良好				
			船尾	二等航海士	良好				
		油圧モータの状況	船首	一等航海士	良好				
			船尾	二等航海士	良好				
	揚錨設備	外観目視検査		一等航海士	良好				
		油圧モータの状況		一等航海士	良好				
	操舵設備		舵テスト	船長	良好				
	救命設備	外観目視検査	ライフラフト	一等航海士	良好				
			救命艇	一等航海士	良好				
	無線設備	VHF		船長	良好				
		その他無線設備		船長	良好				
	積み付け状況の確認		Lashing	一等航海士	良好				
			GoM	一等航海士	m				
			Draft	一等航海士	船首喫水	m			
				一等航海士	船尾喫水	m			
	航海属具	航海計器	海図・水路誌	船長	良好				
			レーダー	船長	良好				
			ECDIS	船長	良好				
			エコーサウンダー	船長	良好				
			GPS	船長	良好				
			AIS	船長	良好				
			コースレコーダー	船長	良好				
			航海灯	船長	良好				
信号灯			船長	良好					
天気図・航路通報	最新情報	船長	良好						
乗組員		人数	船長	良好					
		健康状態	船長	良好					
燃料・食糧等	燃料等	A重油	機関長	M/T					
		C重油	機関長	M/T					
		潤滑油	機関長	KL					
	食糧	食糧	十分あるか	一等航海士	良好				
		清水	十分あるか	一等航海士	M/T				
		医薬品	十分あるか	一等航海士	良好				
		船用品	十分あるか	一等航海士	良好				
その他		一等航海士	良好						
出港直後の船内点検	係船機	外観目視検査	船首	一等航海士	良好				
			船尾	二等航海士	良好				
		油圧モータの停止	船首	一等航海士	停止確認				
			船尾	二等航海士	停止確認				
	揚錨設備	外観目視検査		一等航海士	良好				
		油圧モータの停止		一等航海士	停止確認				
		ブレーキの状況		一等航海士	締め付け OK				
		クラッチの状況		一等航海士	クラッチ IN・OUT				
		ストッパーの状況		一等航海士	ストッパー OK				
		アンカーラッシングの状況		一等航海士	ラッシング実施				
	水密扉	閉鎖確認	一等航海士	良好					
	ハッチカバー	閉鎖確認	一等航海士	良好					
	居住区内の移動物	固縛確認	一等航海士	良好					

本船の状況に併せて作成すること。機関部の部分はそれぞれの詳細を別途作成することも必要。

添付資料

非常連絡事項 1 (全事故共通)

サンプル

書式番号 :

文書番号 :

事故発生 非常連絡事項

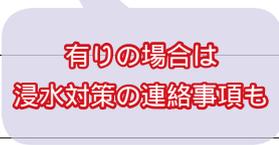
全事故共通 (事故処理基準 第 5 条 (1))

1	船名	丸	
	船種		
	積荷種類		
2	事故発生日時	年 月 日 時 分 (JST)	
3	場所		
4	仕出港・仕向け港		
5	事故の種類		
6	死傷者の有無	有 ・ 無	
	有りの場合	本船乗組員の場合は役職・氏名	
		負傷の状況	
7	救助の要否	要 ・ 否	
8	事故発生時の気象・海象	風向・風速	
		視程	
		波浪の状況	
9	船長氏名		
10	通報者氏名・役職		
11	通報時間		
12	連絡先		

書式番号：
文書番号：

事故発生 非常連絡事項

衝突 (事故処理基準 第5条 (2 -))

確認事項		結果	備考
イ	衝突の状況	位置	
		時間	
		自船針路	 <p>手書きで良いので図が良い</p>
		自船速力	
		相手船針路	
		相手船速力	
ロ	自船の船体・機器損傷状況		
ハ	浸水の有無	有 ・ 無	
ニ	流出油の有無	有 ・ 無	 <p>有りの場合は 浸水対策の連絡事項も</p>
ホ	自力航行の可否	可 ・ 否	
ヘ	相手船情報	船名	
		総トン数	
		船主名	
		船長名	
ト	相手船の状況	損傷状況	
		死傷者の有無	有 ・ 無
		救助要否	要 ・ 否

有りの場合は
浸水対策の連絡事項も

連絡先も含む

非常連絡事項 3 (乗揚げ)
サンプル

書式番号：

文書番号：

事故発生 非常連絡事項
乗揚げ (事故処理基準 第5条 (2 -))

確認事項		結果	備考
イ	乗揚げの状況	船位	
		自船針路	
		自船速力	
		海底との接触箇所	図で説明が良い
		船体傾斜	
		喫水変化	
		陸岸との関係	
口	船体周囲の水深・底質等		
ハ	潮汐の状況・ 気象 及び海象状況	潮汐	
		風向・風速	潮汐情報
		波浪の状況	
ニ	自船の船体・機器損傷状況		
ホ	浸水の有無	有 ・ 無	
ヘ	離礁の見通し	有 ・ 無	有りの場合は 浸水対策の連絡事項も
	救助の要否	要 ・ 否	
ト	流出油の有無	有 ・ 無	

非常連絡事項 4 (火災)
サンプル

書式番号：

文書番号：

事故発生 非常連絡事項
火災 (事故処理基準 第5条 (2 -))

確認事項		結果	備考
イ	出火場所 火災の状況	船位	
		船内のどの場所か	
		火災の状況	鎮火 ・ 延焼中
口	出火原因		
ハ	自船の船体・機器損傷状況		
ニ	消火作業の状況		不明の場合は 「不明」と記載
ホ	消火の見通し		

非常連絡事項 5 (浸水)

サンプル

書式番号：

文書番号：

事故発生 非常連絡事項

浸水 (事故処理基準 第 5 条 (2 -))

確認事項		結果	備考
イ	浸水箇所と原因	船位	
		自船針路	
		自船速力	
		浸水箇所	
		浸水原因	
ロ	浸水量と増減の程度	浸水量	
		増減	増 ・ 減
ハ	自船の船体・機器損傷状況		取った処置
ニ	浸水防止作業の状況		
ホ	気象・海象	風向・風速	
		波浪の状況	
ヘ	浸水防止の見通し		
ト	流出油の有無	有 ・ 無	
チ	救助の要否	要 ・ 否	

非常連絡事項 6 (強盗、殺人障害、暴行等の不法行為)

サンプル

書式番号：

文書番号：

事故発生 非常連絡事項

強取、殺人障害、暴行等の不法行為 (事故処理基準 第 5 条 (2 -))

確認事項		結果	備考
イ	事件の種類	船位	
		事件の種類	
ロ	事件発生の端緒及び経緯		
ハ	被害者の氏名等	氏名	
		被害状況等	
ニ	被疑者の人数・氏名等	人数	
		氏名	
ホ	被疑者が凶器を所持	種類	
		数量	
ヘ	措置状況		

非常連絡事項 7 (人身事故)

サンプル

書式番号 :

文書番号 :

事故発生 非常連絡事項

人身事故 (除く 行方不明) (事故処理基準 第 5 条 (2 -))

確認事項		結果	備考
イ	事故の発生状況	船位	
		発生状況	
ロ	死傷者数または疾病者数		
ハ	発生原因		
ニ	負傷または疾病の程度	氏名	
		負傷・疾病の程度	
ホ	応急手当の状況	種類	
ヘ	緊急下船の必要の有無	要 ・ 否	

非常連絡事項 8 (行方不明)

サンプル

書式番号 :

文書番号 :

事故発生 非常連絡事項

行方不明 (事故処理基準 第 5 条 (2 -))

確認事項		結果	備考
イ	行方不明が判明した日時と場所	船位	
		日時	
ロ	行方不明の日時と場所 (推定)	船位	
		日時	
		上記を推定した理由	
ハ	行方不明者の氏名		
ニ	行方不明者の遺留品		

別紙とし、詳細に

非常連絡事項 9 (その他事故・インシデント)

サンプル

書式番号：

文書番号：

事故発生 非常連絡事項

その他事故・インシデント (事故処理基準 第5条 (2 - 、))

確認事項		結果	備考
イ	状況	船位	
		日時	
		状況	
ロ	原因		
ハ	措置状況		

インシデント：事態 事故ではないが、特別な状況で発生した事案。

添付資料 ~ のデータ及び、下記資料は当組合のホームページからもダウンロードできます。

- ・事故発生時のチェックリスト (衝突、火災、乗揚げ、油濁、人身)
- ・操練の実施間隔等の一覧表
- ・内部監査

日本船主責任相互保険組合
ロスプリベンション推進部長 船長 岡田卓三



JAPAN P&I CLUB
日本船主責任相互保険組合

ホームページ <http://www.piclub.or.jp>

東京本部 〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町2丁目15番14号 Tel: 03-3662-7229 Fax: 03-3662-7107
 神戸支部 〒650-0024 兵庫県神戸市中央区海岸通5番地 商船三井ビル6階 Tel: 078-321-6886 Fax: 078-332-6519
 福岡支部 〒812-0027 福岡県福岡市博多区下川端町1番1号 明治通りビジネスセンター6階 ... Tel: 092-272-1215 Fax: 092-281-3317
 今治支部 〒794-0028 愛媛県今治市北宝来町2丁目2番地1 Tel: 0898-33-1117 Fax: 0898-33-1251
 シンガポール支部 80 Robinson Road #14-01B SINGAPORE 068898 Tel: 65-6224-6451 Fax: 65-6224-1476
 Singapore Branch
 JPI 英国サービス株式会社 38 Lombard Street, London EC3V 9BS U.K. Tel: 44-20-7929-3633 Fax: 44-20-7929-7557
 Japan P&I Club (UK) Services Ltd